

薬学研究コース B 特論・演習

Integrated Laboratory Science B

薬：L1-23613MY

コース科目 6年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 佐藤 光利(薬学教育研究センター／医薬品安全性学研究室)

■教育目的

5年次における薬学研究コース B 実習・演習で経験した、他コースとの共同実習ならびにコース B 独自の実践的かつ教養的な座学を活かす形で、この6年次における薬学研究コース B 特論・演習においても、複数の特別コースの特論・演習や他大学連携特別講義への参加などを通じて、より広い知識と視野を身につけ、よりよく考え表現する態度を涵養する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑤】

■学習到達目標

1. 病院薬学コース開催特別講義に出席して臨床薬剤師に必要な知識を学ぶ。
2. 地域医療コース開催特別講義に出席して地域薬局薬剤師に必要な知識を学ぶ。
3. 臨床開発コース開催特別講義に出席して医薬品開発、薬物治療関連の知識を学ぶ。
4. 健康薬学コース開催特別講義に出席して衛生関連分野の知識を学ぶ。
5. 伝統医療薬学コース開催特別講義に出席して伝統医療関連分野の知識を学ぶ。
6. 海外医療研修コース開催特別講義に出席して海外の臨床薬剤師関連の知識を学ぶ。
7. 薬学研究コース A および B 開催特別講義に出席して研究者に必要な知識を学ぶ。
8. 清瀬市内 3 大学連携特別講義などに出席して国内外の医療事情や問題点を学ぶ。

■準備学習（予習・復習）

予習：事前に提示のある講義内容の予備知識の収集と学習。(20分)

復習：当該講義内容の確認と理解不足部分の補足。(30分以上)

■授業形態

講義

■授業内容

学内教員の他に、学外の実務者講師等による講演に学び、レポートを提出する。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～12	講義・演習	各コース主催の講義・演習、特別講演会など	A 基本事項を中心とする全般
13～14	医療関連講義	清瀬市内 3 大学連携特別講義	A 基本事項を中心とする全般
15	補遺		

■授業分担者

7つの特別コース担当教員および学外講師

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：個別に連絡して意見交換、指導する場合がある。

成績評価方法：出席およびレポートあるいはその他の提出物で総合的に評価する。